

# 9月定例会・清水議員の一般質問



## 米原市民報

日本共産党米原市議団  
清水隆徳 Tel 52-1969  
藤田正雄 Tel 55-1128  
太田幸代 Tel 54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

# 市民の利益となることは賛成し問題点は改善を

9月7日は一般質問の2日目でした。3番目に清水隆徳議員が質問に立ちました。「近江チャイルドハウスの件について」です。6月議会で土地の有償譲渡について8対8で同数となり、議長裁定で否決されました。今回は、無償貸し付けをしている園舎問題について質問しました。また初日の清水議員の財産譲渡に関する総括質疑についての概要です。

## 補修・増築で対応できないか

Q、築27年の建物についてなぜ新築しなければならぬのか。

A、近江にし保育園の建物については、平成27年4月から社会福祉法人石龍会に貸付をしているところです。当該建物は以前から雨漏れなどの不具合もあり、これらの対応については法人負担による修繕対応をされ、今日まで使用されている。しかしながら、法人としても約2年間建物を使用している。今後使用していくことが困難な状況であることを痛感されるとともに、特に0歳児から2歳児までの低年齢児による保育ニーズが毎年増加している現状では、既存の保育室による間取りではこれ以上の受入対応ができないことなどの理由により、新たな施設整備を必要と判断された。

Q、この施設は、10年間無償貸与で議会も同意してきた。10年もたつておらず、他の公共施設は長寿命化で40年以上も使っている。必要な補修や増築をすれば使えらると思うが。

A、建物の老朽化や昨今の保育ニーズに現状の間取りでは対応できないこと、更には施設を利用して子どもたちの安全性や快適性を考慮しますと、非常に厳しい状況です。このため、市として国や県の補助を活用し、法人による新たな施設整備を積極的に支援していきたいと考えている。

Q、新築を目指すチャイルドハウスの建坪単価、設計管理料、解体費用どれをとっても高額である。

A、本市が過去に実施した施設整備においては、建物本体工事以外に外構工事や旧園舎解体撤去工事を合わせて実施するなど、様々な工事内容があります。また、本市自らによる施設整備と社会福祉法人が整備する施設とは、工事内容によっても違いがあることから、一概に建坪単価で比較することができないところではあります。

## 財産譲渡で清水議員の総括質疑

この議案は、山東庁舎西側の土地を駐車場として利用していたが、借地契約解除の申し出があり、6月で契約解除を了解したため、米原市所有の車庫を新地主である社会福祉法人に無償譲渡するという議案です。

Q、山東庁舎西側駐車場の借地契約解除し6月に返却したとされるが、駐車場が不要となったのか。

A、市としては、これから当面の間、職員用駐車場として契約しており借用する思いでしたが、本年2月に契約相手方の個人所有者から土地売却を行うため、契約に基づく解約の申し出があり6月末日をもって土地の賃貸借契約解除することとなった。

Q、駐車場用地の地主との契約内容について、今回の措置は妥当なのか。

A、契約どおり更地にすることを申し出ましたが、契約者の意向から物件を残したまま解約することに至りました。市としても撤去経費の負担が発生しないことから判断した。

## 常任委員会審査では継続審査が妥当

総務教育常任委員会審査では、この議案について前所有者との契約関係が不明瞭であり、内容を精査する必要があるため全会一致で、継続審査とすることが妥当となりました。

## チャイルドハウス近江の問題について

6月議会でも清水議員が表明したように民間保育園（認定こども園）については、多くの保護者が保育内容の充実を希望しており、また社会福祉法人が経営努力されていること、またそのため行政が支援することが必要と考えています。

そのため公共の財産を譲渡する場合、ルールにのっとり、市民に情報公開をしっかりとし、市民が納得する必要があると考えます。

現在公共施設の統廃合など再編が進められています。日本共産党米原市議団は内容を精査し、市民に利益となることは賛成し、問題点となることは指摘し、改善が必要なことはしっかりと提案していきます。



雑感 今回の清水議員の総括質疑・一般質問。ある人から問題の意味がよくわかってよかったとの評価でした。議案の中には、複雑な問題が潜んでいる場合があります。10月末で現在の議員の任期は終わりますが、日本共産党米原市議団はしっかりと議案と向き合っていきます。

